



学校だより 第 7 号

令和 6 年 11 月

上越市立城西中学校

啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。

平和と幸せを運ぶピアノ 校長 五十嵐 守男



当校に、「被爆ピアノ」が来てくれました。（コンサートの様子は、3 ページに掲載しました。）

広島で学んだことを大切にしながら、原爆の悲惨さと平和の尊さをわかりやすく伝えてくれた生徒。心のこもったピアノ演奏を披露してくれた3人の生徒。それを一所懸命に受け止める生徒たち。

「自分だけの幸せ」ではない、「みんなの幸せと平和」を願う思いが、会場全体に広がっていきます。覚えず、涙が落ちました。

「被爆2世」である矢川光則さんのこの活動を支援されている瀧澤ミチ子さんが、コンサート後に矢川さんがこんなふうに語っていたことを教えてくださいました。

「被爆ピアノは弾く人の心で、音が違ってくるんだ。」

「被爆ピアノは生きとるけんのう。今日は、被爆ピアノが喜んでいるよ。」

「ええ学校じゃのう。」

生徒たちの美しい心を、そのように受け止めてくださったことに、深く心打たれた1日でした。

「被爆ピアノ」は、矢川さんと共に、今日もどこかで、美しい心をもった誰かと一緒に、「平和と幸せ」への願いを届けていることでしょう。

創立 60 周年記念音楽祭 10/31

秋晴れの日。上越文化会館に、学年・学級の歌声や、吹奏楽部の演奏が響きました。
歴代校長様、地域の皆様、ご家族の皆様など、たくさんの皆様にお越しいただき、60周年
記念音楽祭を盛り上げていただきました。まことにありがとうございました。

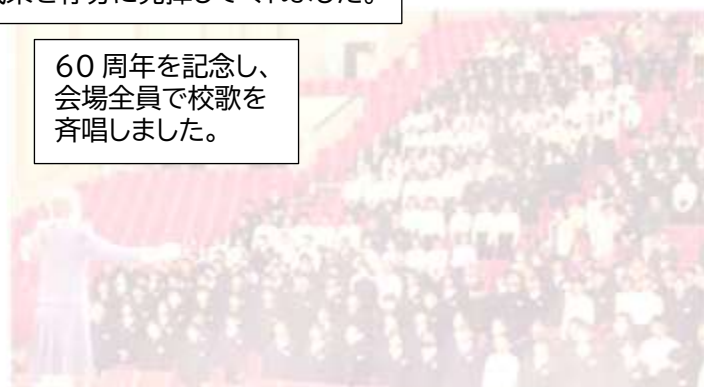
3年生学年合唱「大地讃頌」



吹奏楽部は、オーレンプラザ、雁木通りフェスティバル、そして音楽祭と、大活躍の秋でした。二度のアンコールを受けながら、今までの練習の成果を存分に発揮してくれました。



60周年を記念し、
会場全員で校歌を
斉唱しました。



閉会のあいさつ
音楽祭実行委員長
さん



みなさん、音楽祭お疲れさまでした。金賞をとれた人も、残念ながら金賞をとれなかった人も、どのクラスも一生懸命練習してきた努力が歌にこもっていて、私はとても感動しました。

1，2年生はまだ来年、再来年も音楽祭があります。今回の経験を糧に、より良い合唱をつくってほしいです。そして、次の70周年へとつながる歌声をつくりあげてください。

3年生は今年が最後の音楽祭でした。悔しい思いをした人もいますが、クラス全員で練習してきた思い出はかけがえのない宝物です。この思い出を忘れずに過ごしていきましょう。

今日で音楽祭は終わり、日常生活が戻ってきます。今日は早く布団に入りゆっくり休んで、明日からの生活も切り替えて頑張ってください。

被爆ピアノ 平和コンサート 10/24

「被爆ピアノ」とは、1945年8月6日、広島市に投下された原子爆弾の爆風などによって受けた損傷を修復し、平和を訴えるために、矢川光則さんと全国各地を巡っているピアノのことです。



矢川光則さんは「被爆2世」で、お父様が爆心地から800mのところで被爆されています。平和を願う演奏会を2001年から始められ、全国各地で年間200回以上の演奏会を行ってられます。

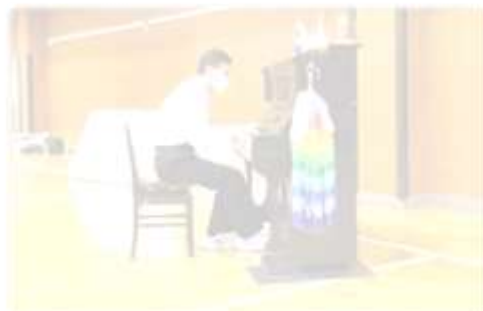


平和を願う千羽鶴を、スタッフの瀧澤ミチ子さんと代表生徒で、被爆ピアノに架けました。瀧澤さんからは、後日、温かなお手紙やポストカードをいただき、全校生徒に配付させていただきました。



上越市の中学生派遣事業（広島平和記念式典）に市内他校の中学生と共に参加してきたさんが、原爆の恐ろしさや平和の尊さについて発表してくれました。被爆ピアノのスタッフの皆さんからも、とても高い評価をいただきました。

生徒は、矢川さんや瀧澤さんから、戦争のお話や、平和を願う千羽鶴、リース、被爆アオギリの話聞くことで、「戦争」や「平和」について真剣に考えることができました。また、ピアノ演奏を披露してくれた3名の生徒には、生徒や、ご来場いただいた皆さんから、感謝と感動の大きな拍手が送られていました。



さん「平原にて」



さん「Believe」



さん「いのちの歌」

【生徒の感想】

◇広島派遣の発表を聞いて、原爆の恐ろしさについて、改めて詳しく知ることができました。ピアノ演奏も一つ一つの音に魂がこもっている感じがして、感動しました。（1年生）

◇今回の発表会や講演を聴いて、改めて原爆の恐ろしさを感じることができました。私たちは戦争のない時代に生まれ、原爆や戦争についてあまりよく理解していませんでしたが、原爆について理解することができました。平和の尊さに感謝して、これからも生きていこうと思いました。（2年生）

◇戦争の恐ろしさを風化させないことが、戦争を知る人から戦争を知らない世代の人たちへ託されたことなので、語り継いでいかなければいけないと学びました。どんな形であれ、いろんな思いをたくさんの人たちと共有していきたいです。（3年生）



瀧澤さんから「平和の鶴リース」と「アオギリの種」をいただきました。



みんなでピアノに触れてコンサートが終わります。教諭が、ジョン・レノンの「イマジン」を演奏しています。

第4教育期「よりよい未来を考える」

城西中学校第4教育期（11～12月）の目標は「よりよい未来を考える」です。11月5日（火）の教育期開始式で、校長が「よりよい未来とは？」についての話をしました。

「よりよい未来とは、みんなが幸せになる未来である。」この認識を生徒・職員全員で共有し、一人一人や、集団にとっての「よりよい未来」を考え、実行してまいります。



<部活動や地域クラブ活動の成果>

【空手道(直心道場)】 (2年) 10月25日(金)～27日(日) 群馬県高崎市

○世界空手道選手権大会 形個人4位 組手個人3位

世界大会入賞の快挙です！

【野球(新潟県選抜)】 (3年)

○全国中学生都道府県対抗野球大会 in 伊豆 11月2日(土)～4日(月) 静岡県志太スタジアム他

1回戦 広島市選抜4－2新潟県選抜

復活戦1回戦 和歌山クラブ3－2新潟県選抜 ※延長タイブレーク

県内トップクラスの仲間たちと共に頑張りました！

【柔道部】

○BSN 柔道選手権大会 11月2日(土) 鳥屋野総合体育館

男子1回戦 中条中4－1城西中

女子2回戦 寄居中0－3城西中 3回戦 小須戸スポーツ少年団1－2城西中

準決勝 新発田第一中2－0城西中 3位

【ソフトボール部】

○新潟県中学校秋季ソフトボール大会 10月6日(日)清里スポーツ公園

1回戦 東石山中・長岡南中・阿賀津川中(3校合同) 16－3春日中・城西中(2校合同)

【卓球部】

○上越地区新人卓球大会 11月3日(日):団体戦、4日(月):個人戦 上越総合体育館

団体戦 男子5位(県大会出場権獲得) 女子7位

個人戦 1年男子 3位 3位 ベスト16

2年女子 3位 ベスト16

2年男子 4回戦敗退後、県大会出場決定戦で勝利(ベスト24)

個人戦で6名が県新人大会に進出！

12月～冬休み明けまでの予定

2日(月)積み重ねテスト④(～4日まで)

24日(火)終業式、生徒会正副会長任命式

7日(土)県アンサンブルコンテスト(吹奏楽部)

給食あり

数学検定(午前)

25日(水)冬季休業(1月7日まで)

9日(月)生徒朝会

10日(火)保護者面談(～12日まで)

1月6日(月) 3年生実力テスト

13日(金)チャレンジテスト(～19日まで)

1月7日(火) 3学期始業式

